

平成 22 年 5 月 24 日

第 12 回 交通基本法検討会 テーマ「物流」

社団法人日本物流団体連合会 副会長 岡部正彦
(日本通運株式会社 取締役会長)

発言レジメ

1. 「物流」の位置付け

イ) 「物流は経済成長に欠くことの出来ない基礎的インフラであり、国民生活を支える重要な基盤」との認識のもと、法案の中でその位置付けを強化

ロ) この基本法と、従来から政府の行ってきた物流関係法令（例：総合物流施策大綱、流通業務の総合化及び効率化の促進に関する法律）との関係の明確化

2. 「物流」の課題

イ) 国際競争力のある効率的な物流網の構築

- 1) 国際競争力のある拠点港湾・空港等物流インフラの重点整備
- 2) 運営或いは輸出入業務等における IT インフラ等ソフト面の整備

ロ) 環境負荷の少ない物流網の構築

- 1) 単体のグリーン化への支援の充実
- 2) モーダルシフトの受け皿の整備のための施策の充実
- 3) 運送事業者と荷主の意識の共通化への施策の充実

3. 現下の課題

イ) 高速道路料金政策について